

拝啓

時下益々ご清祥のことと拝察申し上げます。

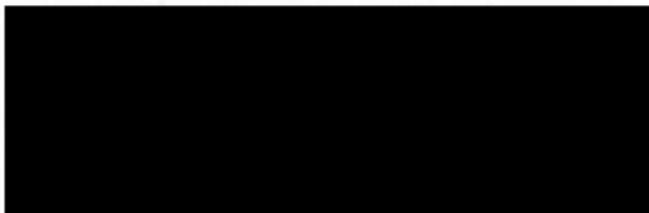
世界喘息デーの資料が届いておりますので、ご参考までお送り申し上げます。

敬具

1998年 11月 23日

喘息デー事務局

ニフティサーブ すこやか村・喘息館 (FSKYA)



喘息デー事務局



London

29th October 1998

Dr Hiroshi Kubo
Asthma Forum on NIFTY-Serve



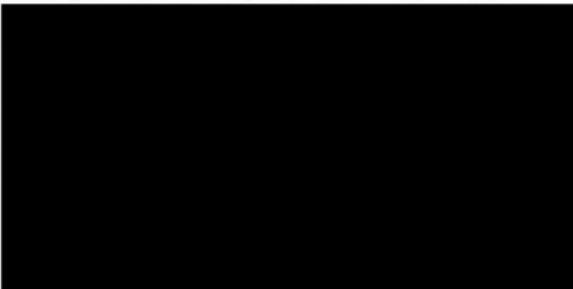
Japan

Dear Dr Kubo

WORLD ASTHMA DAY, 11TH DECEMBER 1998

Many thanks for agreeing to be a supporting contact for World Asthma Day in Japan. We are also pleased to confirm that the following has agreed to act as a primary contact, and we would be grateful if you could work with him closely. His contact details are:

Ken Ohta
Second Department of Medicine
Teikyo University School of Medicine



World Asthma Day takes place on 11th December during the World Asthma Meeting in Barcelona, Spain. As detailed in Romain Pauwel's letter of 24th August 1998, your role will be to build local momentum prior to the launch. Please find enclosed materials, translated as appropriate, which will assist you in this role. These materials have also been distributed to your primary contact. You will need to liaise closely with him to ensure that all appropriate activities are covered and there is no duplication of effort.

123

Buckingham

Palace

Road

London

SW1W 9SH

Telephone:

[0171] 878-3000

Fax:

[0171] 878-3030

e-mail:

results@mslpr.co.uk

These materials include:-

- Press kit for you to send to your media including:-
 1. Press letter to announce establishment of World Asthma Day
 2. Press backgrounder containing details of the organisers of World Asthma Day
- Supporters pack to send to contacts in your country, eg, hospitals, professional organisations and patient support groups. The kit includes:-
 1. A letter encouraging them to participate in World Asthma Day
 2. List of ideas for activities to support/publicise World Asthma Day
 3. Bromides (artwork that is ready for use) of the World Asthma Day logo
 4. A feedback form, to enable you to track their participation
- Letterhead (please note the instructions for use within the guidelines document)
- Guidelines on how to use all of the above materials.

If you have questions on the materials enclosed please call Ken Ohta.
Many thanks for your support!

Warm regards

Nicky Garsten
On behalf of GINA

「日付を入れてください。」

「住所を入れてください。」

関係者各位

初めての「World Asthma Day（世界喘息の日）」が1998年12月11日に催されることを、World Health Organisation（WHO：世界保健機関）、Global Initiative for Asthma（GINA：喘息のための世界的イニシアチブ）、European Respiratory Society（ERS：ヨーロッパ呼吸器協会）が発表したことをお知らせするためにお手紙を差し上げております。

World Asthma Dayの目的は、喘息は地球規模での問題だという意識を高めると共に、科学的な進歩の状況を知らせ、効果的な管理プログラムの実施に一般の人々と関係当局に参加を呼びかけることです。

1998年のWorld Asthma Dayは*Help Our Children Breathe*（我々の子供が息が出来るように助けよう）をテーマに、世界中で児童の間に喘息がきわめて多く、深刻な問題になっていることを強く訴えます。

World Asthma Dayの目標の1つには、最良の喘息診断方法について一般に知識を普及させ、最新の抗炎症作用による治療効果について合議することです。また、年少者の間に喘息が増えてきている原因や、喘息を予防する道を調べている研究者の努力にも強く光を当てます。

喘息を効果的に管理するという課題に一般の人々や関係当局の参画を進めるため、World Asthma Dayの主催者は、5大陸にまたがる50余の団体と協力しています。「皆様の国のWorld Asthma Dayのイベント情報が発表できるまでに準備ができていましたら、それを入れてください。」

12月のこのイベントを支援するために、お力添えいただければ幸いです。今後、World Asthma Dayについての情報をお届けしてまいります。その間、お問い合わせなどございましたら、ご遠慮なくお電話「主要／サポート連絡先の電話番号を入れてください」または、ファックス「主要／サポート連絡先のファックス番号を入れてください」で私までご連絡ください。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「主要／サポート連絡先の名前を入れてください。」

World Asthma Day に参画している団体

World Asthma Day (世界喘息の日) は、スペインのバルセロナで開かれる初めての World Asthma Meeting (世界喘息会議) に合わせて、1998年12月11日に催されます。World Asthma Day は、*Global Initiative for Asthma (GINA)* と *European Respiratory Society (ERS)* が発起団体となり、*World Health Organisation (WHO)*、*US National Heart Lung and Blood Institute (NHLBI)*、*American Academy of Allergy Asthma & Immunology (AAAAI)*、*American Thoracic Society (ATS)*、*International Union against Tuberculosis & Lung Disease*、*European Academy of Allergology & Clinical Immunology (EAACI)*、および *American College of Chest Physicians (ACCP)* の共同後援で開かれるものです。

Global Initiative for Asthma (GINA : 喘息のための世界的イニシアチブ)

GINAは、喘息とその管理法についての新しい科学情報を世界中の医師、看護婦、患者に広めることにより、喘息の治療水準を高めることを目的にしています。この活動は、1992年、US National Heart Lung and Blood Institute (NHLBI : アメリカ心臓・肺臓・血液国立研究所) と WHO が共同で、喘息による疾患と死亡を減らすために地球規模で戦略を考える努力を開始した時に始まりました。

GINAは、在ベルギー、ゲントの大学病院のロメン・パウヴェルズ教授が委員長です。政策は執行委員会が NHLBI と協力して決定し、喘息の管理法の科学的進歩をモニターし、実践の指針を提供する仕事は、NHLBI の Science Base Committee (科学基盤委員会) が行っています。

The European Respiratory Society (ERS : ヨーロッパ呼吸器協会)

ERSは世界中から集まった、呼吸器官の分野を専門とする科学者、研究者、医師など4千300人余の団体です。メンバーは、ERSの特別委員会やワークショップ、研究プロジェクトを主宰することにより協会の目的に積極的に参加しています。メンバーの研究報告用機関誌を2種類発行し、呼吸器官関係の臨床・実験で最良の成果を発表する機会を提供。また、メンバー間で情報交換ができるよう種々の科学的な集まりを主催すると共に、数々の医療関係の会議を後援しています。今年のERSの会長は、ドイツのロバート・ロデンケンパー教授です。

(次頁に続く)

The World Health Organisation (WHO : 世界保健機関)

1948年設立のWHOは190の加盟国からなる国際連合の1機関です。「すべての人々に、可能な限り高水準の健康を達成する」ことを目的としています。健康とは、WHOの規定に定義されているように、単に疾病や機能障害のない状態というのみならず、身体的、精神的、社会的に完全に満足のいく状態を表わします。WHOの現在の事務局長は、グロー・ハーレム・ブルントランド博士です。

The National Heart Lung and Blood Institute (NHLBI : 心臓・肺臓・血液国立研究所)

心臓・肺臓・血液国立研究所、国立保健研究所は、アメリカの保健社会福祉省の1研究調査を助成すること、研究科学者を養成すること、また研究結果を公衆衛生に強い影響を及ぼすことなどが、その主な使命です。喘息に関する科学的調査を支援、評価するほか、研究所は、36余の医療団体や任意の保健団体からなるアメリカ国立喘息教育・予防プログラムや、喘息について患者、医療関係者、一般の人々を教育するためのコミュニティー・プログラムを効果的に調整するコーディネーターとしての役目も果たしています。研究所の所長は、クロード・ラングマン博士です。

123

Buckingham

Palace

Road

London

SW1W 9SH

Telephone: American Academy of Allergy Asthma & Immunology[0171] 878-3000 AAAAI : アメリカ、アレルギー、喘息、免疫学学会)

Fax:

[0171] 878-3030

e-mail:

results@mslpr.co.uk

は、アレルギー・喘息・免疫学の知識と実践を進歩させることを目指す国際的な医療専門家からなる特別組織で、アレルギー専門家、臨床免疫学者、および保健専門家と、アレルギーに関心をもつその他の医師を代表し、メンバー5千700人余にのびります。事務担当副会長はリック・アイバー氏です。

The American Thoracic Society (ATS : アメリカ胸部疾患学会)

ATSは、呼吸器官と危篤状態の医療に重点をおく国際的な専門家と科学者の学会です。研究・教育・患者の介護・支援活動を通じて呼吸器疾患を予防または治療・撲滅しようとするメンバー1万2千500人からなり、呼吸器機能障害や生命にかかわる急性の疾病による死亡を減らすことを目指しています。会長はエドワード・R・ブロック医師です。

(次頁に続く)

International Union against Tuberculosis & Lung Disease

M.S.L (結核・肺臓疾患と戦う国際同盟)

同盟は、会議・研究・出版を通じて、地域社会の保健問題と共に結核と肺臓疾患に関するあらゆる面の情報を収集し、広めています。WHOや、保健問題を扱う他の国際団体・機関と緊密な関係を維持しています。事務局長は在パリのニル・ビロ博士です。

The European Academy of Allergology & Clinical Immunology (EAACI : ヨーロッパ、アレルギー学・臨床免疫学学会)

EAACIは、ヨーロッパ各国の学会30と、学者・研究者・臨床家1千500人余からなる協会です。協会は基礎的・臨床的研究を推進し、科学情報を収集・流布すると共に、他の科学・保健・政治関係団体に対して科学的情報の照会機関の役を果たしています。会長は、在ローマ、イタリア国立研究審議会のサージオ・ボニーニ教授です。

The American College of Chest Physicians (ACCP : アメリカ胸部医師会)

ACCPは、心・肺臓の健康と臨床介護を世界的に向上させることを目指す指導的団体です。1万5千人の会員は、肺臓学・心臓学・胸郭外科医学・喘息・免疫学・危篤児医学など胸部医療に関わる全ての領域から集まっています。1935年創立臨床的胸部医療での教育の改善に尽くしています。ACCPの今年の会長は、ロバート・マックフリー博士です。

— 終り —

123

Buckingham

Palace

Road

London

SW1W 9SH

Telephone:

[0171] 878-3202

Fax:

[0171] 878-3030

e-mail:

results@mslpr.co.uk

「名前を入れてください。」

「住所を入れてください。」

「日付を入れてください。」

「なまえ」殿

WORLD ASTHMA DAY（世界喘息の日）1998年12月11日

1998年、Global Initiative for Asthma（GINA：喘息のための世界的イニシアチブ）および European Respiratory Society（ERS：ヨーロッパ呼吸器疾患学会）は、World Health Organisation（WHO：世界保健機関）のために、初の World Asthma Day を主宰します。World Asthma Day は、スペインのバルセロナで開かれる世界喘息会議を機に初めて開催され、その後も毎年の行事となります。

World Asthma Day の目的は、喘息が地球規模での健康問題だという意識を高めること、科学的な進歩の状況を知らせること、効果的な管理プログラムの実施に一般の人々と関係当局に参加を呼びかけることです。1998年の World Asthma Day は、世界中で児童の間に喘息がきわめて多く、深刻な問題になっているという認識のもとに、*Help Our Children Breathe*（我々の子供が息ができるように助けよう）をテーマに据えます。

地域的なイベントを主宰することにより、World Asthma Day への意識を高めるためにご協力いただけるかどうかを伺うために、お手紙を差し上げております。ご考慮いただく一助として、以下のものを添付いたしました。

☐ World Asthma Day の支援／広報のためのアイデアのリスト

- アイデアのリストは指針としてのみ挙げてあります。皆様の地域社会で喘息問題にうまく関心を引き付けられるようなイベントは、すべて考慮の対象になります。リストに含まれるアイデアには募金の性格をもったものもありますが、これは地域社会のための募金イベントで、World Asthma Day の主催者は、募金を中央での基金として受け取るつもりはありません。

☞ World Asthma Day のロゴのブロマイドプリント（そのままご利用になれるアートワーク）

- ブロマイドをご利用になれば、皆様の地域のイベントを支援するために、World Asthma Day のシンボルマークをつけた資料が印刷できます。

☞ 皆様の参加イベント詳細のご記入のためのフィードバック用紙

- 皆様の企画されるイベントの詳細と仮の日時をぜひお教えいただきたく思います。別添のフィードバック用紙にご記入の上、ファックス「ファックス番号を入れてください」または郵便「住所を入れてください」で、私宛にご送付ください。

（「アイデアのリスト」で例示したような）地域レベルでのイベントを組織することによりWorld Asthma Day にご参加いただけるかどうかをお知らせくだされば幸いです。また、何か疑問の点がおありの場合は、ご遠慮なく私にお電話で「電話番号を入れてください」ご連絡ください。

皆様のご支援に前もってお礼を申し上げます。

ご清祥をお祈り申し上げます。

「主要／支援連絡先の氏名を入れてください」

WORLD ASTHMA DAY - 1998年12月11日

地域参加者の詳細

団体の詳細

団体名：

連絡先：

役職名：

住所：

電話：

ファックス：

電子メール：

World Asthma Day を支援するために、私の地域で以下のイベントを企画します。（イベントの日時も記入してください）：

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

この用紙に記入し、（主要／支援連絡先のファックス番号を入れてください）の
（主要／支援連絡先を入れてください）にファックスで、または、
（主要／支援連絡先の住所を入れてください）に郵便でお送りください。

ご協力ありがとうございました。

World Asthma Day を支援する方法

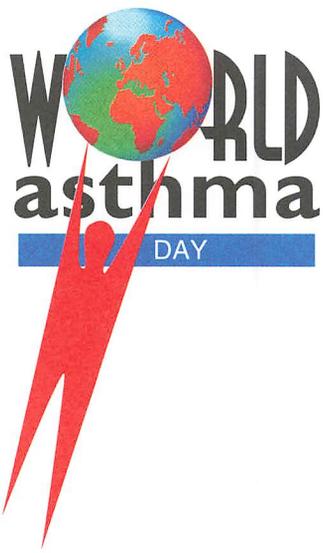
患者を支援するグループで活動なさっている場合

- 喘息にかかっている地域の子供達と一木管楽器や金管楽器を使って一World Asthma Day 記念コンサートを開く*
- 地域の小・中学生達に World Asthma Day 記念の「息を絵にしてみよう」コンテストに応募するようすすめる一このコンテストでは、もし息が見えるとしたら、どんなふうに見えるかを表現して描いてみるように、子供達を指導する
- 地域の公園で World Asthma Day を記念してシャボン玉をとばすイベントをもつ
- World Asthma Day に、名の知られた陸上／水泳競技の選手を招いて、募金集めの競争／長距離水泳をする*
- 喘息にかかっている地域の子供達が書いた話をまとめて、子供向けの本に作る*
- 患者や健康管理専門家に、World Asthma Day の重要性を強調する手紙を厚生大臣に書くようすすめる

医師／看護婦の仕事をなさっている場合

- World Asthma Day に、勤め先の病院／診療所でオープンデーを開き、喘息にかかっている子供達のメッセージをつけた風船をとばす*
- World Asthma Day に先だって、学校を訪問し、喘息と、喘息に襲われた時の対応の仕方について子供達に教える
- 勤め先の診療所／病院で子供達が喘息の特徴を楽しみながら学べるような漫画を工夫して作る
- 喘息検査の相談日を設け、無料で子供達を検診する
- 喘息についての情報と治療法を、インターネットなどの情報源と一緒にまとめて、勤め先の診療所／病院のホームページに掲示する

* 募金活動にできるイベントを示しています



Help Our Children Breathe



E R S



jointly organised with:

